

リハビリテーション科

1 教育目標

(1) 一般目標

全身を診るリハビリテーション医学・医療の基本的考え方を理解し、活用できる。

(2) 行動目標

態度

【クリニカル・クラークシップA・B共通】

1. 全身を診て人生をサポートするリハビリテーション医学・医療に関心をもつことができる。
2. 患者、医療スタッフと良好なコミュニケーションをとることができる。

知識

【クリニカル・クラークシップA・B共通】

1. 活動を育むリハビリテーション医学におけるリハビリテーション診断・治療・支援の3つのポイントを説明できる。
2. 運動と安静が人体に与える影響を、全身を診る視点から説明できる。
3. 積極的な急性期のリハビリテーション治療や、回復期リハビリテーション病棟の目的・適応・特長を理解できる。
4. リハビリテーション科医・理学療法士・作業療法士・言語聴覚士の役割とリハビリテーション医療チームの機能とその専門職の役割を説明できる。

【クリニカル・クラークシップB】

5. 集中治療室からはじまる積極的リハビリテーション治療の具体的な方法を説明できる。
6. 回復期、生活期のフェーズの特徴をみすえたリハビリテーション治療と、その生活や健康への影響を説明できる。

技能

【クリニカル・クラークシップA・B共通】

1. 現病歴や既往歴を把握し身体所見や検査所見を解釈した後、活動の予後予測であるリハビリテーション診断を適切に行うことができる。
2. 活動予後を最良にするための理学療法・作業療法・言語聴覚療法の重要性を理解し、リハビリテーション治療をすすめることができる。
3. リハビリテーション治療の一つとして義肢装具療法やブロック療法、栄養管理等の重要性を理解し、リハビリテーション治療をすすめることができる。

【クリニカル・クラークシップB】

4. 機能障害（拘縮、筋力低下、麻痺、痙縮、歩行障害、言語障害、高次脳機能障害、嚥下障害、心肺機能低下等）の診察ができる。
5. 的確なリハビリテーション診断を行い障害に対し、必要なリハビリテーション治療の選択ができる。
6. 活動予後を最良にするために、理学療法・作業療法・言語聴覚療法に加え、義肢装具療法などのリハビリテーション治療をすすめその評価ができる。
7. 回復期や生活期のリハビリテーション治療や、リハビリテーション支援をすすめることができる。

2 実習要領

(1) 予習

【クリニカル・クラークシップ A・B 共通】

参考図書等を読んで理解しておくことが望ましい。

(2) リハビリテーション医療の診療：必要な問診と診療法の習得

【クリニカル・クラークシップ A・B 共通】

学生 1 名ずつリハビリテーション実施中の患者（家族）への問診・診察を行い、得られた情報をリハビリテーションレポートにまとめる（レポートとして提出）

(3) 集合場所

【クリニカル・クラークシップ A】

《プロリハ》リハビリテーション 第 4 診察室

【クリニカル・クラークシップ B】

中央棟 3 階リハビリテーションセンター第 1 診察室

(4) 担当指導医

【クリニカル・クラークシップ A・B 共通】

医局員全員で指導にあたる。

(5) 演習レポート

【クリニカル・クラークシップ A】

実習初日に配布する。

(6) 提出物

金曜日 9 時前にプロリハリハビリテーション第 4 診察室の担当医師へ提出する。

【クリニカル・クラークシップ A・B 共通】

出席表

【クリニカル・クラークシップ A】

クリニカル・クラークシップ A 演習課題レポート

3 実習の評価方法

実習中の学習態度、レポートの評価

4 クリニカル・クラークシップ指導連絡員

職 名	教 員 名
教 授	尾川 貴洋
講 師	中濱 潤美
助 教	田中 聖慈 小林 絢水

5 連絡先

場所（内線）	リハビリテーションセンター（病院中央棟 3 階 36900）
	《プロリハ》リハビリテーション（6 号館 1 階 36980）
医局（内線）	リハビリテーション科医局（C 棟 10 階 22240, 77486）
E-mail	rehab@aichi-med-u.ac.jp

【初日の集合時間／場所】

9:30 / プロリハ 第4診察室

【祝日の場合】

9:30 / プロリハ 第4診察室

6 クリニカル・クラークシップA 週間予定表

曜日	午 前			午 後		
	内容	担当者	実習室	内容	担当者	実習室
月	(痛みセンター)			(痛みセンター)		
火	9:30～11:00 オリエンテーション リハビリテーション医学・医療 における医療現場の実際	尾川貴洋 中濱潤美 田中聖慈	プロリハ	13:00～16:00 病棟回診	尾川貴洋 中濱潤美 田中聖慈	病棟もしくは リハセンター
	11:00～11:30 リハビリテーション診断とリハ ビリテーション治療の実際の 方法	尾川貴洋 中濱潤美 田中聖慈	リハセンター			
水	(痛みセンター)			(痛みセンター)		
木	9:30～11:00 急性期リハビリテーション治 療とその具体的方法	尾川貴洋 中濱潤美 田中聖慈	プロリハ	(痛みセンター)		
	11:00～12:10 リハビリテーション診療にお ける総括		リハセンター			
金	(痛みセンター)			(痛みセンター)		

第1週目：【A班】が整形外科，【B班】が痛みセンター・リハビリテーション科にて行う。

第2週目：【B班】が整形外科，【A班】が痛みセンター・リハビリテーション科にて行う。

【初日の集合時間／場所】

9:00 / 中央棟36番 リハセンター 第一診察室

【祝日の場合】

9:00 / 中央棟36番 リハセンター 第一診察室

7 クリニカル・クラークシップB 週間予定表

基本的には担当医の指示のもと行動する。

症例検討，教授回診など参加すべき定期的実習・演習のみを示す。

曜日	午 前			午 後		
	内容	担当者	実習室	内容	担当者	実習室
月	9:00 オリエンテーション（初日）	尾川貴洋	リハセンター	13:00 患者診察	尾川貴洋 中濱潤美 田中聖慈	外来
	9:30 リハビリテーション医学・医療指導	尾川貴洋 田中聖慈	リハセンター	15:00 症例検討	尾川貴洋 中濱潤美 田中聖慈	外来
火	8:15～8:30 集中治療室回診	尾川貴洋 田中聖慈	集中治療室			
	8:30～9:00 リハビリテーションカンファレンス	尾川貴洋 中濱潤美	リハセンター	12:00 ボツリヌス療法（適時） （検査・施注・リハビリテーション）	尾川貴洋 中濱潤美 田中聖慈	外来処置室 リハセンター
	9:00～10:00 嚥下造影検査（適時）	田中聖慈	放射線室	12:30～13:00 画像カンファレンス		
	10:00 診察法（問診，神経系，運動器系，呼吸循環器系 等）	中濱潤美	リハセンター	14:00～16:00 患者診察	尾川貴洋 中濱潤美	リハセンター
水	8:15～8:30 集中治療室回診	尾川貴洋 田中聖慈	集中治療室	13:00 患者診察	尾川貴洋 中濱潤美 田中聖慈	リハセンター
	9:00 患者診察	中濱潤美	病棟 外来	15:00 症例検討	尾川貴洋 中濱潤美 田中聖慈	リハセンター
	11:50～12:30 ボードカンファレンス		リハセンター			
木	8:15～8:30 集中治療室回診	尾川貴洋 田中聖慈	集中治療室			
	8:30～9:00 文献抄読会	尾川貴洋 田中聖慈	リハセンター	13:00 症例検討	尾川貴洋 中濱潤美 田中聖慈	リハセンター
	9:00～10:00 嚥下造影検査（適時） 適時リハビリテーション専門 病院実習		各病院	適時リハビリテーション専門 病院実習		各病院
金	8:15～8:30 集中治療室回診	尾川貴洋 田中聖慈	集中治療室			
	8:30～9:00 リハビリテーションカンファレンス	尾川貴洋 中濱潤美 田中聖慈	リハセンター	13:00 病棟回診	尾川貴洋 中濱潤美 田中聖慈	病棟
	9:00 リハビリテーション医学・医療指導 適時リハビリテーション専門 病院実習	尾川貴洋	第1診察室 各病院	適時リハビリテーション専門 病院実習 （第4週）レポート提出・総括（適時調整）	尾川貴洋	各病院